

3月までに御献金・御献品頂いた方々

市沢みどり様 澤野善文様 田代清子様 池本久子様 熱海弘子様 薬師寺由紀子様 神山章五、たき様
 田中铁二様 中島光秋様 安永新次様 松田光子様 田口大輔様 横澤正英様 飯盛宏徳様 斉藤和彦様
 吉永仁子様 井上美由紀様 新郷利幸様 大澤智様 トラ様 佐藤和則様
 鹿島カトリック教会様 伊万里修道院様 佐賀大学医学部精神医学教室様 森本病院 熊谷雅之様
 一般社団法人ドムクス 岩松美八子様 東町わたや薬局 松雪幹一様 内川薬局 内川豊治様
 筑紫野市少年補導員会 天原 邦明 いまり法律事務所 坏悠樹様
 西新共同法律事務所 八尋光秀弁護士 江越法律事務所 江越正嘉様 杵藤法律事務所 藤藪貴治様
 武雄法律事務所 大和幸四郎弁護士 はやて法律事務所 福島和代弁護士
 隈・園法律事務所 隈淳平弁護士 山口・佐藤法律事務所 山口修弁護士
 大川・永尾法律事務所 永尾竹則弁護士 下津浦法律事務所 下津浦公弁護士
 安永法律事務所 安永宏弁護士 前田和馬法律事務所 前田和馬弁護士
 吉武法律事務所 吉武秀将弁護士 木原法律事務所 木原真樹子弁護士
 団野法律事務所 団野克己弁護士 田布施クリニック 諸隈琢様
 肥前精神医療センター 杠岳文様 吉森智香子様 武藤岳夫様
 有明メンタルクリニック 中島央様 カウンセリングスペースひなた猫 中島薫様

佐賀DARCより献金・献品ご協力をお願い

いつも佐賀DARCをご支援して下さい、ありがとうございます。
 苦しんでいる依存症者に回復のチャンスと場を提供していくため、皆さまの資金的な御支援を必要としております。

郵便振替

口座番号 01750-9-123470

加入者名 佐賀ダルクを支援する会

※原則として、郵便局で受け取る振込金受領書の写しを以て領収書に代えさせていただきます。

※発送作業簡略化のため、郵便振替用紙は全員の方に同封させて頂いております。

※入寮施設での食料(コメ・調味料・油・コーヒー・砂糖など)、日用品(洗剤・タオル・シャンプー・リンス・石鹸など)の献品も引き続き募っておりますので何卒よろしくお願い致します。



佐賀

DARC



849-0937

佐賀県佐賀市鍋島3-1-10
2F

0952-97-6766



saga-darc@asahinet.jp



saga-darc.jp

DARC



日増しに暖かさを感じるようになり、そろそろ花見パーベキューの準備をする時期だなと思いつつ、春は佐賀へ移住し活動を開始した時期だなと自分にとっては、改めて身が引き締まる時期でもあり、早いもので佐賀へ来て7年の時が過ぎようとしています。

毎日、コロナウイルスのニュースばかりがテレビでながれる中、佐賀DARCが課外プログラムで利用させていただいている図書館や体育館なども閉鎖され、回復の為に通う自助グループ会場も利用が出来なくなっています。

施設内でも、職員、利用者、全員が朝の検温を行っています。

20人ほどの仲間たちが毎日通う場所だけに、インフルエンザやノロウイルスの時期には毎年、ピリピリするのですが今年は、手洗いや、マスクの徹底にもかなり気を遣うようになりました。

マスクの備蓄もなくなり心配しましたが、プログラムでマスクを自作したりなんか乗り切っています。そんな中でも、ニュースで「濃厚接触」という言葉がながれると興奮したように「濃厚接触!濃厚接触!」と大騒ぎしている子供みたいな仲間もいたり、世間の騒ぎとは全く関係なく、仲間達は日々を楽しんだり、ふさぎこんだり、泣いたり、時には仲間ともめたりしながらも回復を目指してデイケアへ通っています。

7年早いものですが、毎日が色濃いドラマのような仲間達との関わりを与えてもらっていることには感謝しかありません、今年度は唐津DARCも本格的に活動を開始します、就労継続支援事業所の開設も始まります、多くの仲間たちが社会復帰を目指し回復へと踏み出せるような多くの場所がまだまだ必要だと感じています。

多くの方々に支えられながら活動を続けてきた佐賀DARCですが、今後もよろしくお願いいたします。

利用者：ダイ

佐賀DARCに入寮して約2週間ちょっと経過しました。

自分は保釈中に中間施設や自助グループと繋がりはしたものの、本心では否認を続けていました。自分の依存症が認められず、「仕事に復帰して生活リズムさえ整えば回復だ」と思っていました。しかし現実とは違っていました。自分の問題点や間違った生き方を変える事が出来なかった私は、再使用し、そのまま負のスパイラルに陥ってしまいました。

家族や恋人など関係者をとことんまで裏切り傷つけてしまった自分に対する嫌悪感や、薬の切れ目の自己破壊願望が高まった時にどうしていいかわからず、自分を破壊する行動を続けていた私を目の当たりにした家族は疲弊してしまい、その事で入寮を決心しました。

家族をはじめ、自分が傷つけてしまった人々への償いと思い、はじめて回復を目指し始めた自分がいます。継続することが困難な性分なのですが、このまま初心を保ち続けていければ良いと思っています。

入寮することによって、集団生活を通して感じた気づきや学びは多くあり、他施設に通所していた時とは自分の生き方の問題に対する向き合い方に変化が見られているように思えます。このタイミングで佐賀という地へ来れたことに感謝しています。

利用者：ヨシキ



こんにちは、ギャン中のヨシキです。

私は、2019年12月に、ある施設を喧嘩別れして、この施設へたどり着いたのです。その経緯としては、自分は人間関係が苦手でおまけにギャンブル依存症の病気があるので、四苦八苦やってもうまくいかず、母にも見捨てられてしまっていた為、ダルクの施設へ繋がるしか方法なかった私は我慢している事を聞き入れ、佐賀県の施設へと向かいました。ここでは自分を変える為に努力しました。それは、自分を飾らず、ありのままに、自然体にいる事を心掛けました。

以前の自分は人目を気にして素の自分を上手く引き出せずに流される生き方をしていました。そこで、ありのままに自分をさらけ出していくと人間関係がすごく良く、今は以前と違う生き方をしています。

早くも3カ月と言う月日が流れていき、母とも手紙のやり取りをするうちに、母の心境が変化していき、母からも故郷である東京へ帰って来てほしいとのお墨付きがありました。今は笑いある中心として、皆と仲良く頑張っています。

私は正直、以前の施設へ一時は怒っていましたが、時間が経つうちにここへ連れてきてくれた事に感謝する気持ちに一転しました。皆には感謝でいっぱいです。ありがとう自分。ありがとう皆です。

利用者：アオ



はじめまして。ギャンブル依存症のアオです。

佐賀の中間施設に繋がって三カ月が経過しました。競輪を学生の頃から始め約二十年間どん底の生活を送ってきました。

全てが競輪中心で、引っ越し先も仕事も毎日賭けられる環境を第一に考えました。仕事前朝7時に前売りを購入しに競輪場に行くのは習慣になり、週末は友人の誘いを断って一人競輪場で戦いました。

そんだけすれば、借金は当たり前で友人からも理由をつけ借りまくりました。友人の結婚式のお金がなく当日ドタキャンや一万円を千円にして三千円祝儀にすることもありました。

一人暮らしが長く何度も両親に家賃や食費等尻拭いをしてもらいましたが・・・“ラッキー助かった”しか当時思いませんでした。

毎月二十万近く両親に嘘をついて援助してもらう事が何カ月も続き、家族や親戚を巻き込んで私だけ落ちていきました。両親も生きた心地がしないと萎えていました。その後、両親はギャンノンに繋がり活発的に動いています。

全てがどうにもならなくなり、佐賀に来ました。余計なことは考えずに仲間とクリーンを今後も続けていきます。自分が生きるために！



利用者：マツ

こんにちは、ギャンブル依存症のマツです。

精神病院を退院してダルクに繋がり、4カ月が経ちました。ダルクに来てすぐの頃は、ソフトボールでボールを追いかけたら脚の肉離れになるぐらい体力が落ちていました。しかし、朝、決まった時間に起きてクリニックのデイケアプログラムに参加しているうちに、健全な生き方が少しずつできるようになりました。

今では、さがさくらマラソンに参加するために早朝ランニングをするまでになりました。

体力的な回復はもちろんですが、毎日ミーティングで過去の自分と向き合うことで、依存症からの回復、つまりギャンブルをやらない生き方の練習をさせてもらっています。

最近、仲間が急にいなくなったり、入院したりして動揺することもあります。が、まわりにふりまわされず、生活することも回復するための試練だと考えてやっけていこうと思います。



利用者：ヨシ

皆さん、こんにちはアルコール依存症のよしです。

今回初めてこのニュースレターを書かせてもらいました、何を書こうか迷いましたが、ありのままにこの文章にまとめてみました、私は昨年十二月中旬からこちらの佐賀DARCにお世話になっています。以前は東京の日本ダルクでプログラムを受けていましたが、昨年8月の初めに大怪我をし、治療をしていましたが、まだ後遺症が残っていたので、東京の施設では厳しいとの事で、今後の受け入れ先として九州の佐賀に来る事になりました。リハビリ入院中に東京の職員さんから地方の環境が合っている、場所に行ってみないか?と進められこちらの職員さんとの話し合いの結果、こちらでの生活を始め、最初は佐賀?と思いましたが来てみて正解でした。

まずはこちらでのプログラム、夜のミーティング、病院での週2回のリハビリ、以前より1日のやる事が増え、寮に帰ってきたら疲れ、直ぐに眠れます。こちらの施設の皆さんとも楽しく過ごしています。環境を変えるだけで、こんなにも違うものだと正直、びっくりしています。

昨年までお世話になった東京の職員さん看護師さんの皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、今は色々な意味で治療に励み、またこちらの仲間をサポートしてもらい、助かっています。今後も感謝の気持ちを忘れずに、回復へ向かっていこうと思います。

利用者：クロ

佐賀DARCに繋がって約三カ月が経ちました。

私は高校卒業後に進学で上京し、約5年間に渡り、つい最近まで、借金とギャンブル漬けの日々を送っていました。

元々金銭面での問題を抱えていた私は、学業が本分にもかかわらず多くの金銭を得るために、法的にもモラル的にも問題のある仕事をするようになりました。そして出会ったのが非合法のギャンブルでした。

仕事が仕事だけに、10代には似つかわしくない額を動かすことに慣れていた私は、裏スロ、インカジ、闇カジノなどの短時間で大金が動く賭け事に夢中になりました。後々に、多額の借金や金銭感覚のズレに苦しむ事になるなどという事は微塵も考えはしませんでした。金銭的な圧迫だけではなく、友人、恋人、家族、お金よりも大切な繋がりまでも失ってしまい、両親から縁を切ると告げられた時も、平気な顔をしていた自分を思い出すとゾッとします。散々見栄を張ってきて、自らを過大評価し続けた挙句、「大金を稼いでいる自分」という幻想を捨てきれなかった私は、誰かに助けを求めると言う事が出来ませんでした。

ですが、生きるか死ぬかというところまで切羽詰まり、これではいけないと気付いた結果、依存症なのだと思える決心をしました。

DARCに繋がった今、素直に過去の過ちと勘違いした生き方を見つめ直し、絶望していた人生をやり直すきっかけを頂いたと実感しています。借金などの問題は先送りにしただけで山積みですが、この先どうなるかは自分自身にかかっており、他人のせいにする事などはもうできません。非合理的で無駄に感じることもかなりありますが、ポロ雑巾のようになっていた自分をも温かく迎え入れてくれた仲間と共に、回復していこうと、前向きな考えができるようになりました。

利用者：ヤギ



こんにちは、アルコール依存症のヤギです。二度目のニュースレターになります。佐賀DARCに繋がってはや、1年が経とうとしています。

当初はアルコールに問題がある人は私一人でしたが、今では3～4人の仲間と共にミーティングに参加する日々が続いています。

施設での生活も大分慣れてきて、夏は海水浴やキャンプ、フットサルなど、体力的にきついことも忘れて、新しい仲間達とも楽しく過ごしています。プログラムに繋がり、ただ単にお酒をやめるだけでは、本当の意味での回復ではないということも理解でき、お酒に走った根本的な根っこの部分を変えて行かなければならない、古い考え方を捨て、新しい生き方をしなければ自分が助かる道はないと、今更ながら実感いたしました。

自分の意志の力だけではどうしようもない、一人だけでは回復できないという依存症という恐ろしい病気！今までは一人で戦ってきましたが、戦うのを止めた時、気持ちがすうっと楽になりました。自助グループの仲間も増えて、色々なイベント等で会う人達との交流も楽しみな事の一つです。

これからもミーティングに参加して回復の道を一步づつ、病気ということに忘れずに、日々生きてることに感謝し、謙虚に低い心、そして{今日一日}で過ごしていきたいと思います。

By ヤギ

利用者：ケン



アディクトのケンです。佐賀ダルクに来て心に残る思い出ばかりでとても有り難いです。その中でも、とても綺麗な海、海水浴ルーディさんのジェットスキーでのバナナボートです。海でのバナナボートはジェットスキーのエンジンのパワーがある為、引っ張られる速さがまるでジェットコースターよりも遥かにパワーが有り最高です。みんなでバナナボートに乗っている時は、海の波でバナナボートがジャンプしたりみんなで一緒に海にオッコトリ、皆でバナナボートから吹っ飛んだりしてとても楽しいです。晴れた日の夏の日曜日は、海に行ける日がとても楽しみです。春夏秋冬の行事も多くキャンプでは焼肉、焼きそば、カレーライス、なんでも全て食べ放題で、佐賀DARCにいとデブになるのが怖いです。

利用者：ヒロキ



こんにちは、僕は薬物依存症のヒロキです。

最近急性肝炎になり、入院していました。
原因は、精神安定剤の飲みすぎでした。意識障害と体のダルさ等すごい辛かったです。
入院する一週間前の記憶がほとんどありません。
最初は肝臓移植とか、人工透析とか、かなり大変な状況でしたが、東京から妹が来てくれて、お母さんと電話で話したりしていたら、奇跡的に回復していきました。
家族の愛のパワーを感じました。
自分の回復のため離れて暮らしていますが、いつかまた家族に会いたいと思います。
それに初めて家族と離れて生活してみて、改めて家族に会いたいと思うし、こんな僕のためにしてくれてくれた事やアディクション真っ只中の僕と戦ってくれた事に感謝しています。
いつの日か自立して、自由に家族と会えるようになりたいです。

Jay,Hee,Dより

利用者：グベ



2019年12月某日42歳ダルクに繋がった…
クスリは、何とか30ぐらいで抜け出せたのだが…
アルコールにおぼれる日々の始まりでもあつた…
…最悪だ…抜け出したけど…まるで、先の見えないトンネルの中でさまよっている自分…何も考えられないし…考えたくもない。
ダルクで過ごす日々昔のことを話している自分がある。
何とかクリーンを続けられている…この日々が続くことを、俺は願っている…佐賀ダルク グベ

利用者：モトキ



依存症になって
こんにちは、アディクトのもときです。

依存症になって、一番困っているのは、幻聴です。
朝起きてから、夜、寝るまでの間、ずっと聞こえています。
しかし、仲間の声掛けと見守りで元気に回復の道を歩んでいます。
春から冬にかけて楽しく過ごしています。
これが、一人きりなら、耐えられないと思います。
仲間がいて、初めて、回復の道を進んで行けると思います。
これからも、仲間の中に居させていただきこの先の人生を、楽しく過ごして行きたいと思います。